

# NEW DENTAL SALON

## トピック

令和3年12月17日

栃木市壬生町との協議会

令和3年12月8日

保険講習会

歯科医師会と私

増山久一先生

これからよろしく

栗原悠先生

湯本夏子先生

業者からの耳より情報

株式会社ハギノヤ

トクヤマデンタル

オムニクロマ

## 編集後記

2月24日、ロシアがウクライナに攻め込み戦争が始まりました。その影響が我々の日常を脅かし、未だコロナも落ち着かないまま、歯科業界にも逆風が吹き続けています。

今回、理事の先生方のご尽力により栃木市壬生町共に歯科医師会の要望が反映される形となりました。

今後も地域の人々の健康のために、また、若い世代が安心できる社会作りのため、行政と関わっていく大切さを感じました。

広報担当理事 峰野 友良

## ネット配信広報誌第13号 2022年秋冬

第10回 令和3年度

栃木市との協議会

毎年、下都賀歯科医師会は、歯科保健行政の充実と歯科医師会の発展のため首長を交えた協議会を行っています。この協議会は、令和3年12月17日で10回目を向え、行政からは、栃木市長、保健福祉部長、地域包括ケア推進課課長、健康増進課課長計9名歯科医師会からは、会長、副会長をはじめ16名の役員での会議となりました。今回は、コロナ禍ということもあり手指のアルコール消毒、マスク着用のもと換気に気を付け窓を開けながら例年よりも短い時間での会議となりました。協議会での主たる議題は、8月5日栃木市へ提出した要望書の回答という形になりました。



## 栃木市への要望内容

### 1. 災害、有事の際の具体的な取り決めに関する要望

避難所における歯科医療体制の充実を図るため、医薬品の備蓄と歯科医療器材の整備が行われることになりました。



### 2. 出産後歯科健診に関する要望

全国的にみて、福祉の進んだ自治体は産前産後の計2回の健診を取り入れています。

このたび、栃木市長にも賛同していただき、県内初として導入していただきました。

また、今後はすべての妊産婦に配布されている「妊産婦健康手帳」に組み込まれることになり、その表紙にも記載されますので受診率の向上が期待されます。

(今までは小さな健診用紙でしたが、他

の健診同様に手帳内記載となります。)

### 3. 介護従事者向けの歯科講習会の導入に関する要望

介護従事者に対する歯科の基本的知識や、現場での実践的な対処を含めた講習会を導入していただくことになりました。



## 壬生町との協議会

### 妊産婦歯科健診の導入に関する要望

壬生町においては、いまだに妊産婦歯科健診がありません。今回でこの要望は、3回目になりますが、今年度は、この妊産婦歯科健診導入に関する要望の1つに絞り、令和3年9月24日、要望書の提出をし町長、副町長、民生部長、こども未来課長、母子保健係と壬生町部会長、副部会長、監事、遠藤議員でとそれを基に第1回目の会議を行いました。11月18日に下都賀歯科医師会会長、副会長、壬生町部会長、壬生部会副会長、監事と壬生町民生部と2回目の会議を持ちました。特に2回目の会議では、下都賀歯科医師会会長が、妊産婦歯科健診の必要性の根拠を説明し、かつ行政側の見解の矛盾を指摘していただきました。歯科医師会の熱意が伝わり次年度の令和4年度より来院型の妊産婦歯科健診の実施する運びとなりました。

今年度の行政との協議会におきましては、厳しい財政の中栃木市、壬生町ともすべての要望が受け入れられる形となり行政の方々には大変感謝しております。また、今後も相互の協力体制を整え更なる充実を図りたいと思います。会員の皆様からの要望があれば何なりとお申し出ください。

下都賀歯科医師会専務理事 本島 博久

---

## 保険講習会を開催

---

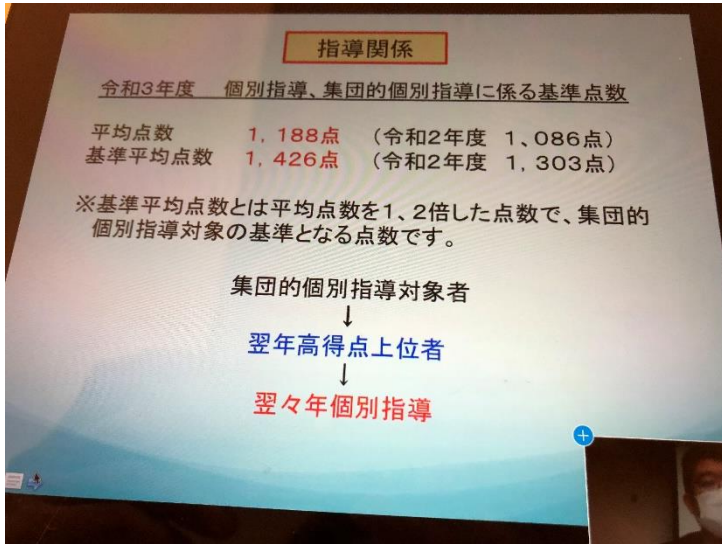


去る令和3年12月8日(水)7時半より、例年開催している保険講習会を今年も開催しました。

今年はコロナ禍の影響を考慮し、webと来所とを併用する、いわゆるハイブリッド開催の形式で行われました。

web参加者30名、来所者11名の、合計41名の出席でした。

まず、県歯常務理事の岡本先生より、県全体の平均点や、コロナ禍での個別指導の開催状況、その個別指導への事前の準備、初診算定にかかる施設基準、保険証の枝番の取り扱い等について順次解説していただきました。



続いて田村より、多岐にわたる算定項目ごとに、それぞれの算定要件や、誤りの多くみられる内容、摘要欄記載の方法について触れ、返戻、査定扱いとならないように留意すべき点などを、県歯のQ&Aも引用して説明を行いました。

開催に先立ち、会場の PC 接続や WiFi 環境の確認から始まり、web での参加者に対しての念入りなテストなどを、複数回にわたって会場入り

し行うといった労をとってくださった、鈴木常夫先生と事務の田熊さんには、この紙面を借りてお礼申し上げます。

また講習会当日は、web 参加者のノイズが入り音声のトラブルが発生したり、zoom ユーザー一名が特定できないため出欠確認が困難だった、といった想定外の事態も起こってしまい（話をしていた私には影響が無かったが）、参加者の見えないところで、鈴木、本島両先生がトラブルシューティングに奔走していたことも申し添えます。



現行の算定要件については、直近の改定により、歯管や義歯の困難加算の解釈は以前よりは理解しやすい内容となり、それに伴い返戻も減った印象を受けますが、延長ブリッジ算定への条件が複雑化したり、咬合調整や口腔内装置に選択式コードの記載が必須項目となるなど、より理解しがたくされた項目も増えていることもあり、さらに慎重な算定を行うことが要求される傾向を感じています。昨年は会場に来所する人数を制限して2日に分けての開催となり、今年はまた違ったかたちで行われました。

最近の例でいえば県歯の学術講演会がそうでしたが、来所者を可及的に減らす形式での開催が新たな常識となりつつあります。大人数が一堂に会するとき、飛沫防止の目的での換気の徹底や、時間をかけ過ぎないといったことも踏まえなくてはなりません。

今回の開催の形は、当支部の催事としては初めての試みとなりました。関係者の皆さまのご尽力もあり、いくつかの課題は発生したものの無事に終えることができました。改めて感謝申し上げます。



来年度は保険改定の年であり、事業計画にも本講習会は予定されております。どういったかたちでの開催になるかはまだ分かりませんが、なるべく多くの先生方にご出席いただき、皆さんの算定誤りを極力減らせるようサポートできれば幸いです。

保険担当理事 田村良亮



## 歯科医師会と私

増山 久一

先ずもってこの難局の中、歯科医師会の舵を取っていただいている先生方や運営をしてくださっている方々に心より御礼申し上げます。

さて、今回デンタルサロンの原稿の依頼があり、会員歴の長い順に当たるとのことでしたので、改めて既刊のデンタルサロンを確認しましたところ「次は私の番？早くない？」と違和感を覚えました。急きょ会員名簿の下都賀を開けてみると、私の名はもはや1ページ目にランクインしておりました。昭和57年に25歳で入会してしまったためだと順の早さをひとまず腑に落としペンを執らせて頂くことと致しました。

私は卒後1年程の都内勤務の後、ろくな修行もできないまま開業してしまいました。親類に歯科関係もなく右も左もわかりません。そのため、先輩の先生方から頂戴するアドバイスはどれも新鮮に感じ道標となりました。

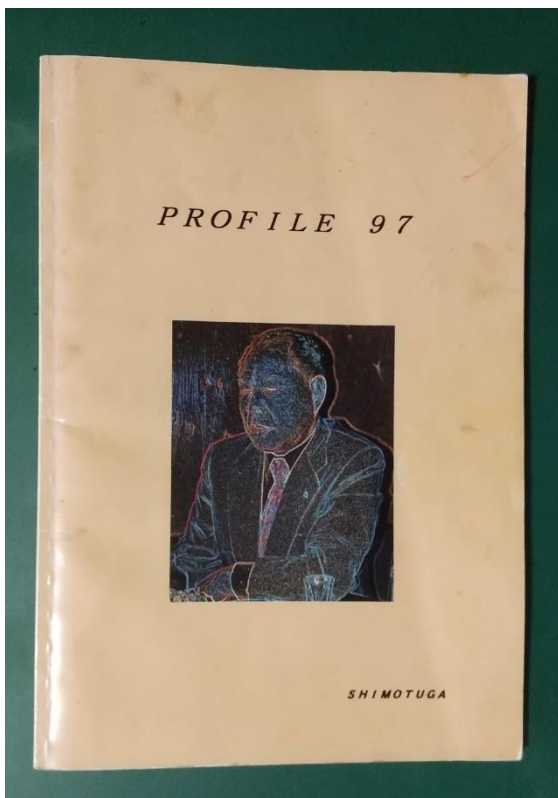
お世話になった先生方のお名前を挙げればきりがありませんのでこの場では割愛させて頂きます。懐かしいエピソードも少なからずあり、それらは当会が平成9年に発行した

「PROFILE 97」（若い先生方はお持ちでないと思いますが）という冊子を開くと鮮やかに甦ってきます。そこには当時の各先生方の顔写真とプロフィールが載っており、その写真が実にナイスショットで先生方の素のお人柄が生き生きと捉えられており、暫し思い出に浸れます。因みに私の写真は木村重人先生が懇親会の折に撮ってくださったと記憶しております。

エピソードの中には、ベテランの先生方から教えて頂いた治療法などもいくつかあります。それらは大学や教科書で学んだことと異なり、むしろ真逆のものさえありました。当初は半信半疑でしたが徐々に共感に変わっていきました。長きにわたる現場の経験の賜物と知りました。

入会以来39年、振り返ってみますと歯科治療に限らず価値観が変わった物事が多々あり、いったい何が良いのか、悪いのか、解らなくなることがあります。世の中のインフラ

なども目まぐるしく変革され、もはや私にはそのスピードについていけません。



人生 100 年時代とはいっても、私はとっくに折り返し点を過ぎており、もうそろそろ、世の変動に振り回されることのない心の居場所が欲しくなります。私は時折、絵筆をとりキャンバスに向います。絵画には「見えるものを通して、見えないものを描く」という理念があります。私流に解釈すると「自分にも気づけない自身の本質を、絵筆を介して、無心に、ひたすら具現化していく作業」とでもなりませうか。その作業中だけは様々なことから解放され、何か特別なオーラに包まれているような安らぎを感じます。

最後になりましたが、何かとストレスが多くなる一方の昨今、先生方の心身の御健康をお祈り申し上げます。

---

## これからよろしく

---

みなさんはじめまして

栗原 悠

はじめまして。2021 年 1 月に下都賀歯科医師会に入会させていただきました、栗原悠と申します。同年 3 月に、地元である壬生町に「くりはら歯科医院」を開院いたしました。

簡単ではありますが経歴を書かせていただきます。

中学は作新学院中等部、高校は栃木高校、大学は奥羽大学歯学部卒業(35 期)になります。

中学ではサッカー部、高校、大学ではバドミントン部に所属しておりました。

同大学にて臨床研修を行い、その後宇都宮市の歯科医院にて約 8 年の勤務医を経て開院という流れになっております。現在は 2 歳になる息子と妻の 3 人で暮らしております。



先日初めて、壬生町にあるバンダイミュージアムという施設に家族で行って来ました。写真はそのときに撮ったものになります。コロナの影響もあり、残念ながらプラモデルを作るスペースやアーケードゲームは封鎖されていました。それでも、施設中央にあるガンダムの等身大の上半身はかなりの迫力がありました。

バンダイミュージアムには、その他に昔ながらのブリキのおもちゃが羅列されていたり、歴代ウルトラマンや仮面ライダーなどの人形が所狭しと展示されています。

その中でもとりわけ時間をかけて見て回ったのが、歴代のガンダムが展示されているコーナーでした。学生のころに何作かアニメで見たことのあるのですが、自分の知っているガンダムを探したりしていました。そして、それが見つかりと当時のことが思い出されて、とても懐かしい気持ちになりました。



みなさまも昔、人形やおもちゃなどで遊んだ経験があるかと思います。そんな懐かしい思い出に浸ってみてはいかがでしょうか。壬生町にお越しの際は、ぜひバンダイミュージアムにも一度立ち寄ってみてください。

つたない文章でしたが、最後まで読んでいただきありがとうございました。

開業して1年の若輩者ですが、歯科医師としてこれから成長していければと思いますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



## 湯本 夏子



初めまして柳橋デンタルクリニックの湯本夏子です。苗字含めて暑苦しい名前だと思いませんか？これでも夏生まれではありません。

おかげさまで、今年の1月18日で開業1周年を迎えることができました。医院は栃木市柳橋町にあります。生まれは栃木市大町で、40歳になった今もそこで実家暮らしをしております。これでいいのか疑問ですが、私の分の洗濯や部屋の掃除を大好きな91歳の祖母にやってもらっています。感謝してもしきれません。自慢してしましますが、祖母は今なお弓道を熱心に続けており、教士・七段という腕前です。

出身大学は日本大学歯学部（学部54回）です。卒後は母校のある東京都内に住むようになりましたが、在学中は栃木市から片道2時間半かけて通っており好

奇の眼差しを向けられていたように思います。

歯科医師臨床研修制度が始まった年の卒業で、開始直後の学外の歯科医院での研修で「この仕事には向いてない」と完全に挫折してしまい、残りの期間を投げやりに過ごしていたことをここで告白いたします。その後の進路選択でも、開業医での勤務はムリ、でも歯科以外の道に進む勇気も才能も興味もない、小児歯科はもっと苦手、矯正科は入局試験があるからムリ、研究って…何を…？、というネガティブな消去法で口腔外科に医局員として残った次第です。

その当時は開業医になる未来は全く見えていない、見たくもない状態だったのですが、なぜか結果的にここに行きついてしまいました。患者さんやスタッフには言えませんが、実は今でも日々この選択を後悔したり、怖くてたまらなくなります。

こんな私ですが、下都賀歯科医師会の一員として恥ずかしくない歯科医師となるよう、また、お世話になりすぎている家族や、いままで私を導き支えてくださった多くの方々に恩返しできるよう、投げ出さずに、患者さんに誠意を尽くして精進いたしますので、どうぞよろしく願いいたします。

## 業者からの耳寄り情報

先生方におかれましては日頃より格別の御厚情を賜わり、深く御礼申し上げます。

近年シェードフリーのコンポジットレジンが各メーカーより次々発売されておりますが、その中でもトクヤマデンタル オムニクロマについてご紹介させていただきます。

オムニクロマシリーズの製品は、シェードという概念のないコンポジットレジンです。オムニクロマに配合したスープラナノ球状フィラーが発する構造色と窩洞からの反射光が混ざることによって、コンポジットレジン自体が充填する窩洞の色調に同化するという、光の混色技術を応用した新しいコンセプトの製品です。

オムニクロマはそれ自体でVITA社の16シェードの色調に同化することができます。そのため、シェード選択に迷わなくて済み、沢山のシェードを揃える必要もなくなります。また、これまでの顔料で色調調整されたコンポジットレジンとの大きな違いとして、ホワイトニング等で修復部周囲の歯質に色変化を生じた際にも、オムニクロマはその色変化に追従して色調が同化し続ける点が挙げられます。

またオムニクロマはペーストタイプ、フロータイプ両方のご用意がございます。先生方の臨床に合わせて、オムニクロマとオムニクロマフローを是非お試しください。

FAHL コンポジットインストルメンツ (FCI) は、歯の微細な解剖学的形態を忠実に再現できるように、歯牙解剖学および人間工学に基づいてデザインしております。

特徴としては、歯の微細な解剖学的形態を忠実に再現するために必要不可欠な、16種類の先端形状をラインナップしています。また、人間工学に基づき、持ちやすさと作業の正確性にこだわったハンドルのグリップ感を実現しています。そしてレジン離れに優れ、見た目にも美しい窒化チタン (TiN) コーティングを施しております。審美修復の第一人者である Dr. Newton Fahl Jr. 監修の FAHL コンポジットインストルメンツを、先生方の臨床に合わせてぜひお役立てください。

株式会社 ハギノヤ



オムニクロマ特設ページはこちら →

<https://www.tokuyama-dental.co.jp/omnichroma/>

